



口加だより

平成29年10月31日発行
長崎県立口加高等学校
第7号

あやめが丘の窓から

1枚のメモ

校長 下釜祐保



手元に1枚のメモがある。日付は、昭和63年10月29日。ちょうど30年前のメモだ。タイトルは「出羽海親方講演会」である。当時私は、新任教師として上五島高校に勤務していた。本県出身の第50代横綱・佐田の山(さだのやま)関は、現役引退も名門出羽海部屋の親方として、日本相撲協会の理事長として、長きにわたり角界の発展に尽力された。その親方が、母校・上五島高校で講演をされた時のメモである。その一部を紹介したい。

90キロの体重を何とかして増やしたいがいくら食べても太れない。そこで考えたこと…。他人が100回四股を踏むなら、自分は200回踏もう。他人が5時に起きるなら、自分は4時に起きよう。いつまで続くかやってみよう。自分で決めたことだ、他の誰にも言ったわけではない。そういう思いで、歯を食いしばった。

相撲の世界に「3年先の稽古をせよ」という言葉がある。3年後に咲く花を目指して今稽古する。できないから稽古する、勝たないから稽古する。稽古は与えられてするものではない、自分で見つけてするものだ。自分で工夫しながらするものだ。与えられたものはしないよりみましたが、身につくものは少ない。例えば、相撲に“おっつけ”というのがあるが、その小指の使い方をおぼえるのに(マスターするのに)3年はかかる。稽古とはそういうものだ。

印象に残る言葉を走り書きしただけの乱雑な文字だが、あの熱弁が鮮明に甦る。講演の後半には、“国際性”についても語られた。

①日本の文化・伝統を知っておかないと他国の文化は理解できない。まず自分自身を知ること、そして相手を研究する。②他人のいいものはどんどん取り入れる。自分のいいものはどんどん紹介する。この2つが国際交流の原理原則である。

とメモしている。

その元横綱・佐田の山関は今年度になり79歳で亡くなられたが、30年も前に語られた努力の仕方、ものごとの原理原則は、やはり普遍的真理としみじみと振り返っている。

終盤に「勉強も仕事も、相撲と同じ」という文字もある。

今となってはとても古いものだが、この1枚のメモが当時の青年教師に大きな影響を与えたことは間違いない。



学年だより

～第1学年より～

H29年度菖蒲祭も大盛況に終わり、急に寒くもなって風邪なども心配ですが、ここでちょっと頭をひねってウィールズも吹き飛ばしましょう。

この問題にもかからないで下さいね。

一問目 2、1、1/2、()、()・・・()の数字は何でしょう？

二問目 2、1、()、1/2、()・・・()の数字は何でしょう？

三問目 図1の8マスに1～8の数字を縦横斜め、全て隣り合わないように入れましょう。

四問目 図2の8マスに1～8の数字を縦横斜め、全て隣り合わないように入れましょう

どうでしたか？ 似てるけどちょっとの違いで大きく違う。でも何か根拠があるんですね。さあ理由までわかりましたか？

図1

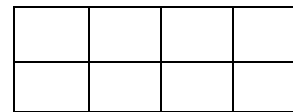
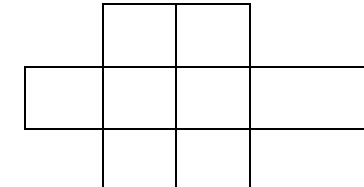


図2



(1年1組副担任 山本文隆)

～第2学年より～

今更ながら、2年生ってやることいっぱいあるなど実感している今日この頃・・・普段の学習や部活動に加え、今は新人戦・文化祭・模試などを同時進行しなければいけません。人によっては、総文祭・小論発表・ボランティア活動なども加わります。唯一平等に与えられている「時間」を大事に使うことが改めて大事なことなんだと感じています。

私は朝が得意です。小学生の頃にファミコンを買ってもらったのはいいものの、実家にテレビは1台しかなく、いつゲームをしようか・・・「朝でしょ！」といった感じで早起きが得意になりました。人によって得意な時間は違うと思いますが、私は朝が得意で良かったです。なぜなら、朝早く仕事をして夜早く帰れば家族との時間が増えるからです。とても普通のことを最後に言います。「時間を大切に！」

(2年4組担任 松本辰哉)

～第3学年より～

さて、受験生、今、何%の力で勉強していますか。もう受験も終わり結果がでた3年生、今、何%で学校生活を送っていますか。

私は、先日、筋力トレーニングのDVDを観ました。その時トレーナーの方が「トレーニングで大事なのは常に100%の力を出し切ること。70%しか頑張らない人は70%の筋力しかつかない。もっと言えば70%の人間にしかなれない・・・」と。

「トレーニング」を「受験勉強」に置き換えると70%しか頑張っていない人は、70%の学力と結果しか出ないということになる。今、自分が何%で受験勉強と学校生活を送っているか振り返って欲しい。多分、君たちがこの記事を読む頃は、センター試験まであと70日余りだと思います。残りをどう頑張るか。また、11月、12月の受験生は、もう目前ですよ。

私の好きな言葉に「いま頑張らず、いつ頑張る。」(尾関宗園語録より)があります。3年生、今一度、今、何%の力で毎日の受験勉強、学校生活を送っているか自問自答して欲しい。

100%の努力は、100%の「進路実現」と「笑顔」、そして人間的成長を君たちに導いてくれると思います。頑張れ！

(3年2組副担任 小松 敏一)

中地区学習交流会

10月7日（土）～9日（月）中地区で九州大学志望の生徒100名が集まり、学習交流会が行われ、本校生徒5名が参加しました。交流会では、互いの勉強法を教えあったり、各校の先生方による90分の講義を受け、いつもとは異なる環境で学習に向き合いました。他校の生徒から良い刺激を受けた様子でその後の学校生活でも学習に励んでいます。さあ、君たちの実力を見せる時！受験に向かって、



頑張れ!! Ambitious 70th !!

センター100日前集会

センター100日前集会について私が色々書くのは、ちょっと気が引けるのですが、激励の動画を作った者としてコメントさせていただきます。動画を作成するために3年生の頑張っている姿を5月から集めてきました。勉強はもちろん、部活・行事、様々な場面で良い顔をしているなどというのが正直な感想です。その中で、徐々に自学スペースで勉強する人数が増え、添削する生徒の姿が見られるようになり、最後まで自分を追い込んでくれればと思います。センター試験はとても特殊な環境で試験を受けます。広い講堂に同級生は1人もいないし、私服の浪人生もいます。私の同級生は試験中に貧血で倒れました。本番で自分の力を出し切るには自信が必要です。どんな環境においても自分の力を発揮するために、自分を信じられるだけの最大限の努力を今やりましょう！公務員・専門学校・看護を目指す生徒たちも同様です。そのきっかけとなるような動画が作れていたならば幸いです。

（進路指導部 担当 松本辰哉）

人権集会

10月12日（木）、本校体育館で人権学習が開催されました。

今回は「自分も相手も大事にするコミュニケーション～アサーティブを学ぼう～」という演題で開 浩一先生（長崎ウエスレヤン大学現代社会学部社会福祉学科）にご講演をいただきました。

「アサーティブなコミュニケーション」とは「自分も相手も尊重しながら、自分の気持ちを伝えるコミュニケーション」を言います。生徒は映像や写真を見ながら、普段の生活の中で実際に起こりそうな事例について分かりやすく学ぶことができました。

生徒からは「相手も自分も思いやった会話ができるようになりたい。」「これからは自分のことをもっと好きになろうと思った。」などの感想がありました。



加津佐ナイターバレー

10月20日（金）より加津佐小学校で開催されているナイターバレーに、【職員口加チーム】で参加しております。お近くにお住まいの方々、熱いご声援、よろしくお祈りします!!



今月のグローバルコース

10月20日（金）、常春藤高校（台湾）の生徒25名を迎えました。歓迎セレモニーの司会を『井上祐香』さんが、交流会の司会を『嶋田希海香』さんが務めるなど、生徒が主体となった交流会となりました。相手の理解が、交流を行う上で大切なことであるなど、言葉（コミュニケーション）以外の点にも気づくことができる交流会となりました。



今月の生活創造コース

7日（土）ロ之津図書館お話し会ボランティア（2年生）

連休初日ということで、子どもたちも多く、楽しい時間を過ごすことができました。



17日（火）若木保育園実習（3年生）

夏以来、久しぶりに園児たちと会うことができました。相変わらず元気いっぱいでした。



職員ペンリレー

家庭科 森田潤也

23歳の頃、私は友人と2人で東京へ行きフリーターをしたことがあります。その時、東京にいた友人宅に転がり込むことを決意します。お金も何もないのに、後先考えず、若さと勢いだけで上京しました（笑）本当にお金がなく、雨の日も寒い冬の日も自転車で買い物に走りました。食事は専ら「カレー」。大量のカレーを作り、冷凍保存して、解凍しながら命を繋ぎました。

友人との思い出深い東京生活。苦しくもあったけど3つのことを学びました。①無計画・勢いだけで飛び込んでも何とか人は生きていけるということ。②でも、やっぱり蓄えがあって計画を立てたほうが余裕のある生活を営めること。③カレーは毎日食べても飽きないこと。

今思えば、お金では買えない貴重な経験をさせてもらいました。「こういう先生もいるんだよ！」って生徒にいつか話せたらと思っていました。人生には失敗や挫折が訪れる時があります。「なんとかなる！」と前向きに生きていこう！